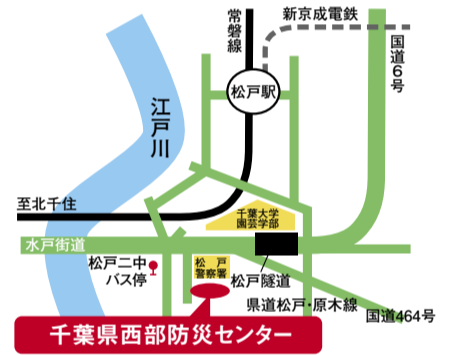


まつど議会だより

発行／松戸市議会
編集／広報委員会
千葉県松戸市根本387-5
TEL.047(366)7382

会議録検索のURL <http://www.kaigiroku.net/kensaku/matsudo/matsudo.html> 松戸市のホームページ (<http://www.city.matsudo.chiba.jp>) からアクセスできます。



東日本大震災から1年、あらためて防災対策を考えてみませんか。(写真は千葉県西部防災センター TEL 047-331-5511)

3月定例会

平成24年3月定例会を2月23日から3月23日まで開催しました。
今定例会では、各会派から市政に関する代表質問が行われ、また市長から提出された24年度予算や一般議案、さらに市民の方々から提出された請願・陳情を各委員会にて審査しました。
24年度一般会計予算については、7人の委員から修正案が提出され、詳細に渡りその賛否を審査しました。
最終日には、これらの議案のほか、追加議案や議員提出議案が上程され、議決しました。(7面に審議結果を掲載)

主な議案の概要

◎議案第54号から63号までは平成24年度予算
(5面に主な審査内容を掲載)

◎議案第64号 松戸市暴力団排除条例の制定について
市、市民および事業者等が、連携・協力の下に暴力団の排除を推進することにより、市民の安全で平穏な生活の確保および事業活動の健全な発展を図る。

◎議案第65号 松戸市スポーツ施設条例の一部を改正する条例の制定について
中学生以下の屋外プールの使用料を無料化するとともに、松戸中央公園のプールを廃止する。

◎議案第66号 松戸市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について
生活保護世帯数の増加に伴い、生活支援課の組織を見直すとともに、生活保護業務に係る職員の定数を増員する。

◎議案第67号 松戸市スポーツ振興基金条例の制定について
松戸市スポーツ振興基金を設置することにより、本市におけるスポーツ活動の振興を図る。

◎議案第68号 松戸市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
地方公共団体の手数料の標準に関する政令の改正が行われたことに伴い、浮き蓋付特定屋外タンク貯蔵所の設置許可申請に対する審査(消防法第11条第1項)手数料を定める。

◎議案第69号 松戸市民館の設置及び管理に関する条例及び松戸市立博物館条例の一部を改正する条例の制定について
社会教育法および博物館法の改正に伴い、公民館運営審議会および博物館協議会の委員の委嘱または任命に係る基準を新たに定める。

◎議案第70号 松戸市重度心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
心臓機能障害などの高額治療継続に該当する方に、医療費の助成に係る所得制限の緩和措置を3年間延長することにより、重度心身障害者の生活の安定を図る。

◎議案第71号 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
法律の改正に伴い、東日本大震災以降、遺族の範囲が拡大されたことにより、災害弔慰金を支給する遺族の規定を整備する。

◎議案第72号 松戸市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
第5期介護保険事業計画の策定に伴い、被保険者の負担能力に応じた保険料の設定を行うとともに、介護保険の財政の安定および均衡

の観点から、第1号被保険者の保険料率を引き上げる。

◎議案第73号 松戸市営住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
法律の改正に伴い、市営住宅の入居資格の規定を整備する。

◎議案第74号 松戸市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
地方公営企業法で定められていた利益や資本剰余金の処分に関する規定が廃止され、現行の企業法と同様の条例で対応する。

◎議案第79号 市長等及び一般職の職員の給与の特例に関する条例の制定について
近隣市の給与水準との均衡に鑑み、平成24年4月1日から26年3月31日までの2年間、特定の職員の給与を減額する。

◎議案第80号 松戸市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
国家公務員に対する給与の改定に係る人事院からの勧告内容に準じ、給与構造改革における現給保障措置を段階的に廃止するとともに、千葉県職員に対する給与の改定に係る千葉県人事委員会からの勧告内容に準じ、教育職俸給表の改定を行う。

* 主な内容 *

- P2～P3…市政に関する一般質問
- P4…常任委員会・特別委員会の審査
- P5…予算審査特別委員会の審査
- P6…予算討論
- P7…審議結果・意見書・人事案件
- P8…市議会表彰・編集の窓 ほか

一般質問

3月定例会では、3月1日・2日・5日の3日間
にわたり、市長の施政方針を中心に市政に関する
一般質問を行いました。
まず会派を代表する議員7名が、続いて会派に所
属しない議員1名が順次登壇しました。

公明党

伊東 英一

子どもたちの放射能対策を

問 子どもたちの健康を守るため、東葛地域で連携をとり、ホールボディカウンターを導入できるよう、国や県に働きかける考えは。

答 内部被ばくは、放射性物質が飲食物、呼吸や皮膚から体内に取り込まれて起こり、その種類や量を測定するものが、ホールボディカウンターである。この検査機器は特殊であり、購入・検査をするには、財政基盤、管理体制、数値などの基準値、検査結果に対するの評価やその後の対応を検討する機関の設置など、課題も多く、1市では対応が困難と考える。

今後は、近隣市と協議し、国や県に対し、この検査機器による内部被ばく検査はもとより、その他の健康に関する調査の実施を強く要望していく。

高齢者の命と健康を守るために

問 肺炎で亡くなる高齢者は多

いが、成人用肺炎球菌ワクチンは、インフルエンザワクチンと併せて接種することで、重症化を予防でき、健康増進や医療費の削減にも有効である。この接種費用を助成する考えは。

答 高齢者肺炎球菌ワクチンは、日本人の死亡原因の第4位となっている肺炎などの合併症を防止し、重症化を予防できるなど、高齢者の方の命や健康維持に効果的なワクチンといわれ、全国でも公費助成が広がりを見せている。任意接種であることから、接種費用は、個人負担になり経済的な事情もあり、接種が進んでいない。今後は、公費助成を実施している近隣市の進ちょく状況を参考に前向きに検討していく。



医療費助成で子育て支援を

問 県の平成24年度予算では、中学生までの入院費を助成する方

針が示されたが、本市独自で、通院の医療費助成も行う考えは。

答 子どもの医療費助成は、子育て家庭への経済的支援として、助成拡大に努めてきた。県は、入院費助成の対象年齢を小学校3年生から中学校3年生まで拡大し、24年12月1日から実施するとしている。市の予算編成時には、県の動向が不明確であったことから、当初予算は現行制度の小学校6年生までとした。予算の確保、事務作業の準備や関係機関との調整等の課題はあるが、市では今後も、所得制限なし、自己負担200円を堅持しつつ、入院・通院の助成対象年齢の拡大、また、前倒し実施も視野に入れて準備を進めている。

松政クラブ

小沢 暁民

放射能除染対策について

問 平成24年度の当初予算では、東京電力へ請求する約11億8千万円を歳入として見込んでいるが、24年度中に確保できる見通しなのか。

答 放射能除染対策事業を遂行する費用は、その責務から国と東



除染作業を全力で進めています

京電力に請求していく考えである。下水道事業に関しての費用は、東京電力の原子力賠償請求指針等により、請求できることになっていくことから、現在、手続きを進めているところである。その他の項目はまだ決定されていないが、今後請求したいと考えている。

市立病院現地建て替えを断念、市長の説明責任は

問 平成23年9月の市立病院建設検討特別委員会で、市長は「現地建て替えを断念」と表明された。市長選挙における最大のマニフェストであった市立病院現地建て替えは、実質的に不可能となったが、その後、説明や謝罪があったとは聞いていない。市長が自ら市民に説明する時期にあると思うがどう考えるか。

答 市立病院の建て替え計画については、千駄堀移転建設案の基本計画を策定するための費用が、2月29日の本会議で可決されたことから、5月末の策定を目的に進めていく予定である。マニフェストとの関係については、現在、この計画案を検討しているところなので最終案が決定した段階で説明したいと考えている。

皆勤賞について

問 卒業式では、卒業証書以外に、休むことなく毎日元気に登校した児童・生徒へ教育委員会が

「皆勤賞」を授与してはどうか。特に小・中学校の9カ年皆勤ということは、子どもと家庭が力を合わせた大変な結果であると考えられるか。

答 多くの小・中学校では、無遅刻、無早退、無欠席の児童・生徒に皆勤賞を授与している。皆勤賞を得ることは、本人はもとより、家庭の並々ならぬ努力が必要である。こうした子どもたちを賞賛することは意義あることであり、教育委員会としても、何かの形として顕彰することは方法の一つと考えている。皆勤賞は、基本的に各学校の役割とは思いますが、校長会等の意見を聞きながら研究・検討していきたい。

市民クラブ

中川 英孝

矢切耕地基本構想の将来について

問 矢切耕地の将来については、交通アクセスも含め、産学官が一体となり、「農と健康」を軸に議論を進めるべきである。そこで、過去1年の取り組みと考え方を伺う。

答 本市では、「矢切耕地の将来を考える農家組合協議会」とともに勉強会や視察研修等を通し、「農の振興策の議論を重ねている。平成23年度は、農産物直売施設整備に関する調査・研究業務を委託した。その中間報告では、集客効果が期待できる国道6号線沿いの矢切周辺が最適であり、検討に値するとのことであった。

今後は、千葉大学園芸学部、農・商・工業や市が連携し、交通アクセスや大型農産物直売施設の実現性を考えながら、効果的で適正規模の施策を研究していきたい。

自治体の景気対策について

問 地域経済の自立戦略には、産業の振興が重要と考える。政策が地域経済にどのような効果を及ぼすのかを知るため、過去に2度発行したプレミアム商品券の産業連関分析による経済効果を伺う。

答 経済波及効果等を測定する方法として、産業連関表を利用した分析方法がある。しかし、本市では、分析に必要な産業連関表を作成していないため、千葉県の産業連関表を用いた。プレミアム商品券がすべて使用されたが、また、何に使われたかが不明であるため、便宜的に産業連関表の民間消費構成比を活用して、経済波及効果を試算した。その結果、5億5千万円の消費額に対し、約1.4倍の7億7千1百万円の消費効果をもたらしたものと試算した。

日本共産党

高木 健

放射能の除染対策について

問 放射能の除染対象の区域は、市民の声を聴きながら、追加指定を図るべきと考えられるか。

答 除染実施区域の設定は、平均的な空間放射線量が毎時0.23マイクロシーベルト以上となった区域である。「松戸市の放射能関連計画策定スケジュール」では、今後策定する「松戸市放射能総合計画」の中で、パブリックコメントやタウンミーティングの実施を予定している。市民からのご意見については、できる限り取り入れる考えである。また、除染実施区域以外では、本市の「除染実施計画」に基づき、小・中学校や子ども関係施設と子どもがいる住宅の除染を実施していく予定である。

国民健康保険料の値下げと減免について

問 国民健康保険料について、一般会計からの繰入額を増額し、値下げを行う考えはないか。

答 平成24年度の保険料について、また、一部負担金の減免制度の利用を促すために、どのような対策を考えているか伺う。



未来へむかって



大切な家族のために（介護支援課の窓口にて）

ては、一般会計からの繰入等を行い、据え置くことができた。

現在の国民健康保険特別会計は、高齢者や低所得者が多い等から、財政基盤が弱い弱であり、厳しい状況が続いている。今後も歳入における確かな保険料の賦課を実施し、歳出の保険給付費の適正化を図り、安定的な事業の実施を目指す。減免制度は、23年4月に、国の基準に基づき要綱を定めた。広報まつどやホームページでお知らせしているが、今後も周知に努める。

介護保険制度について

問 介護保険料の引き下げを行う考えはあるか。また、介護予防・日常生活支援総合事業では、負担増やサービスの後退、さらに利用者の意思は尊重されるか。

答 平成24年度から26年度までの第5期の計画では、要介護認定者数の増加および施設整備に伴う介護給付費の増加等が見込まれる。しかし、保険料は、介護給付費等準備基金の取り崩しや財政安定化基金の活用等を行い、上昇を抑制する手立てを実施している。

介護予防・日常生活支援総合事業は、市の判断で、地域の実情に応じたサービスの提供が可能となるものである。実施する際には、本人の意向を最大限に尊重しつつ、状態に応じた適切なケアマネジメントに基づき行っていく。

（キズナ）

杉浦 誠一

東日本大震災を受けて災害対策をどのように考えるか

問 東日本大震災を受けて、本市特別救助隊を充実強化する考えはないか。また、住宅密集地区の消防活動をどう考えるか。

答 本市では、中央・小金・五香の3消防署に特別救助隊を配置している。切迫性が指摘される首都圏直下型地震等に備え、救助隊員を専門的な研修等へ派遣し、知識や技術の向上を図っている。さらに高度化にふさわしい車両、資材の整備を目的とした調査研究を行い、救助隊の高度化を進めていきたい。また、住宅密集地区では、日頃から各消防署が地域の実情を把握し、消防活動体制の確立を図り、事前計画に基づく図上訓練を行っている。新年度には、現状よりも機動力が発揮できる一回り小型の水槽付消防ポンプ車の配置も予定している。

松戸駅周辺を活性化するために

問 施政方針にある松戸駅周辺のランドデザインとはどのようなものか。また、消費活動のため、市職員の昼休みを1時間に戻し、外食しやすいようにしてはどうか。

答 グランドデザインの策定では、独自性を打ち出すため、3つのシナリオを描いている。JR松戸駅改良と連携を図る「駅に関する取り組み」、相模台から江戸川を軸に回遊性を強化する「街の軸に関する取り組み」、そして駅を中心とした日常生活圏の「エリアに関する取り組み」である。今後モデルとなるようなデザインにま



JR松戸駅西口デッキより

とめ上げたい。また、職員の昼休みは、45分に変更して5年という節目であることから、現在、職員に対しアンケート調査を行っている。今後、検証結果を踏まえて、休憩時間のあり方を議論していきたい。

産業振興条例の制定について

問 商業の基盤強化と発展を謳って制定した「松戸市商業振興条例」の成果は。また、商業のみでなくすべての産業の振興条例を制定すべきと考えるかどうか。

答 商業振興条例の制定で、商店街への加入促進や地域連携相談が増えるなど、各事業所の意識改革が第一段階の成果として現れた。経済の振興を図るためには、農業・工業・商業・観光などが相互連携といった視点を持つことが重要である。それぞれが活性化することで、雇用機会や税収が増え、経済的安定が図られ、市民生活の向上につながることを考える。今後は、産業全体を包括した産業振興条例の制定につなげていきたい。

市民力

山中 啓之

施策展開における調査・分析システムの確立を

問 人口動態は、担税力と密接に関係があると思われるが、市は

どのように分析し、戦略的な施策展開にどう生かしていくのか。

答 平成23年12月末の人口は、47万7779人で、前年同月と比べ1052人減少している。市税収入も景気低迷の影響で、年々減少しており、市民一人当たりの負担額は、近隣市と比べ、最も低い傾向にある。人口減少は、放射能問題の影響や、さまざまな構造的課題が要因として想定されるが、直接的な原因を特定することは難しいと認識している。人口動態に対応したまちづくりを進めていくことは、非常に重要な要素であるため、現在、「松戸市の人口流入・流出調査」を始めたところであり、その中で何ができるのかを検討していきたい。

スポーツ環境の充実に向けて

問 千駄堀暫定スポーツ広場の利用者が増えているが、隣接地を加えて広場の拡充を図り、本格的な運用ができないか。

答 平成22年度の広場の利用者は2万3392人。前年度と比べて928人増えており、利用度は高まっている。隣接地には、21世紀の森と広場の西第二駐車場があり、年間の地代は23年度で1千3百29万1539円となる。駐車可能台数363台に対し、22年度は一日平均2.5台の利用台数であった。スポーツ広場と、この駐車場や飛地を合わせると、約6万4千㎡の広さとなる。施設の拡充は切実な問題ととらえており、関係課と協議しながら、スポーツを行っている市民の割合のめざそう値50%に向け、努力していく。

イベントの充実について

問 本市の魅力を高める施策として、七草マラソン大会でハーフマラソンを実現する考えは。また、市制施行70周年記念イベントで松戸B級グルメコンテストを開催し

てはどうか。

答 七草マラソンは、市民から愛されるイベントに定着してきたと実感している。ハーフマラソンの導入は、専門的な職員の配置や関係機関との協議など、さまざまな課題の解決を含め、参加者の安全確保を第一に研究していく。B級グルメコンテストは、全国的なブームとなっており、地域の活性化を目的に「まちおこしイベント」として実施している自治体もある。市制施行70周年に向け、市民とともに祝いでできる魅力的なイベントとなるよう検討していきたい。



みんなで頑張るって完走しよう!!

民主・社民クラブ

二階堂 剛

放射線に関する健康調査の実施を

問 放射性物質汚染対処特別措置法に基づき、汚染状況重点調査地域に指定された松戸市では、市民の内部被ばくへの心配・不安を解消するために、健康調査を実施していく必要があると思うがどうか。

答 健康不安の軽減については、これまで4回の講演会や電話相談を実施し、一定の効果があつたと

考えている。多くの方から「専門家の話が聞けてよかった」「個別の質問に答えてくれたことで安心した」などの声があつた。新たな方策として、専門家による個別健康相談なども検討し、一層の不安解消に努めたい。

医療機関等との意見交換で、小児がんや小児内分泌の専門医など、県内外の医師と会い、貴重な意見をいただいた。しかし、現時点での医療連携も含めた体制の確保は難しいと思慮している。今後、さらに医療従事者との意見交換を充実させたいと考えている。

JR新八柱駅のバリアフリー化を

問 新八柱駅は、平成24年度からバリアフリー化を進めるとのことだが、整備計画の工事概要を伺う。また、計画に沿って設置されるエレベーターは、いつから利用可能となるのか。

答 新八柱駅は地下にホームがあるため、バリアフリー化に向けての課題や制約も多く、繰り返し設計が見直されてきたが、基本計画が完了し、駅改良の全容について報告を受けた。工事は、24年6月から概ね5年を要し、28年度末に竣工する予定である。整備内容は、各ホームの新松戸駅寄りの末端にエレベーター、障害者対応型トイレ、既存階段の脇や駅舎入口にスロープ等を設置する計画である。エレベーターの供用開始時期は、26年度を見込んでいる。

新年度医療体制と医師、看護師確保は

問 平成24年度の診療体制と医師・看護師の確保の状況を伺う。

答 診療体制に大幅な変更予定はないが、市立病院の3階東病棟を準集中治療室（ハイケアユニット）として、患者の安全性向上を図ること、また歯科口腔外科の導入も検討を進めている。医師数は、救命救急センターに



看護師をめざして

無所属

中田 京

公立病院としてのあり方は

問 救命救急センターを充実し、今後は、どんな患者も受け入れたいとのことである。「かかりつけ医」を推奨する松戸市の保健・医療政策との整合性をどう考えるか。

答 市立病院は、「第3次救命救急センター」として、主に重症患者を受け入れている。24年度は、4人の医師を加え、救命救急体制を強化することにより、本市のみならず東葛北部医療圏全体に「たらいまわし」や「受け入れ拒否」が起きることがないよう、重症度に関わらず、「最終受け入れ病院」としての機能を継続していきたい。このことから、センターの充実、民間の病院など、第2次救急の領域を含むという趣旨ではないので、松戸市の保健・医療政策との整合性は保たれているものと考えている。

常任委員会・特別委員会の審査が5

2月24日及び3月6・7・9・12日に各常任委員会、2月27日及び3月12日に市立病院建設検討特別委員会が開催され、提出された議案や請願・陳情を審査しました。

この日は、その審査の中での質疑・答弁(要点)の一部を掲載します。議案の内容については、松戸市のホームページに掲載してあります。

総務財務 常任委員会

議案第66号
松戸市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について

●主な質疑

問 生活支援課が1課と2課の2つに分かれるが、仕事の分担はどのようなになるのか。

また、今後のケースワーカーの負担と就労支援の状況を伺う。

答 市内を3地区に分けて、中央地区を生活支援1課、それ以外の地区を2課の分担とする。

住宅手当、中国残留邦人や、面接相談業務については、1課で行うことを考えている。

面接相談の利用者は、今までどおり窓口に来ていただければ、同じように面接を受けていただくことが出来る。

条例の改正により、ケースワーカーの負担は軽減されるが、生活保護世帯は増えている状況から、いずれは、今と同様の業務量が生じてしまう可能性も考えられる。

就労支援の状況は、6名の就労支援相談員を配置し、カウンセリ

ングを行っている。就労意欲を喚起させることから始まり、次に履歴書の書き方、面接の受け方まで指導している。必

要であれば、相談員が企業を回り、その方に合った仕事を見つければ、そのまでの支援をしている。

議案第79号

市長等及び一般職の給与の特例に関する条例の制定について

●主な質疑

問 ラスパイレス指数が上がった原因と、その対応を伺う。

答 ラスパイレス指数とは、国家公務員と、地方公務員の給料月額を比較する指標である。

本市のラスパイレス指数を押し上げてきた要因は、実力主義による昇格や管理職が多いこと等が挙げられる。

これらへの長期的な対応として、給料表等の見直しや、管理職の適正な配置を図っていく。

長期的な対応では、すぐに効果がでないため、今回の条例改正で、短期的な対応として、本市独自に2年間給料を引き下げ、また管理職の補充を大幅に抑制する。

健康福祉 常任委員会

議案第47号

平成23年度松戸市国民健康保険特別会計補正予算(第1回)

●主な質疑

問 インフルエンザが流行し、

感染者が増えているようだが、国保会計の予算に不足が生じる心配はないのか、現状を伺う。

答 松戸市・流山市・我孫子市を範囲とする松戸保健所管内で、インフルエンザに感染した方は、平成24年2月6日から12日までの一週間で1687人となり、千葉県内でも群を抜いて多くなっている状況である。

平成23年12月診療分の保険給付費額は、約22億円となっており、平成22年の同時期と比較すると、約1億5千万円伸びている。

国保会計では、この伸びを5億円で試算しているため、想定される範囲内と考える。

千葉県の疾病対策課によれば、1月下旬から、患者数が大幅に増えているとのことだが、医療費は、想定した予算の範囲内で収まると考え、心配するには及んでいない。

議案第72号
松戸市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

●主な質疑

問 条例改正の内容は、第5期の保険料基準額の引き上げということになるが、この要因は何か。

答 第5期の介護保険料基準額は4660円で、第4期に対して820円の引き上げとなる。

高齢化の進展により、要介護認定者および介護サービス利用者の自然増が第一の要因である。

加えて、特別養護老人ホームな

どの施設整備に伴う介護給付費の増、国の制度改正で第1号被保険者の負担率が20%から21%に変更となったこと、介護報酬が1.2%プラス改定されたこと、地域区分の見直しによる地域ごとの人件費の調整によるものなどが、保険料を押し上げる要因となった。



教育経済 常任委員会

議案第64号

松戸市暴力団排除条例の制定について

●主な質疑

問 「市民の責務」として、暴力団から不当な要求があった時は、市への相談や必要な措置を講ずるといった内容が記載されている。警察本部長は、暴力団等から危害を加えられそうな通報者を保護し、市は必要な協力をするという管轄署との連携体制が、確実に保証されていないなければならないが、考えを伺う。

答 市には、「千葉県暴力団排除条例」に準じ、本条例を制定する責任があることから、管轄署との協定書により、市民の安全確保を補完したい。

また、市は、暴力団排除等の経験がほとんどない。このことから、今後、管轄署との情報交換や事務の支援等についても協定を結び、平成24年7月1日の施行に向けて準備していく。

問 市の事務等については、契

約の相手方から暴力団等を排除するという内容が記載されているが、実際の対応方法を伺う。

答 公共工事の契約に関しては、国から標準的な約款が示されており、受注者に暴力団が関わったことが明らかになった場合は、契約を解除する規定を設けるといってもよい。本市では、すでにこれらの内容を建築工事等の契約に盛り込んでいる。

議案第69号
松戸市公民館の設置及び管理に関する条例及び松戸市立博物館条例の一部を改正する条例の制定について

●主な質疑

問 博物館については、法律で定めてあった協議委員の任命要件を条例に任されるということか。

答 今回の改正は、学校教育・社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行なう者や学識経験者の中からの任命を定めるものである。今後は、松戸の特色を生かしながら、運営していかねばならないと認識している。

議案第49号
平成23年度松戸市下水道事業特別会計補正予算(第1回)

●主な質疑

問 下水道施設耐震化業務で実施しているマンホール浮上防止対策の進捗状況と今後の予定は。

答 市では、平成19年度に下水道地震対策緊急整備計画を策定した。20年度から5年間の計画で、緊急輸送路、避難路並びに避難所からの汚水を流下させる路線にあるマンホールの浮上防止対策を実施している。22年度までに590基を見直し、23年度には125基を見

都市整備 常任委員会

込んでおり、計画に対して約75%が実施済みとなる。引き続き、25年度以降も新たな計画を策定し、浮上防止対策を実施していきたい。

議案第73号
松戸市営住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

●主な質疑

問 今回の改正は、国の公営住宅法の改正で削除される市営住宅への単身入居資格者の要件を、市の条例で新たに規定するものと判断している。今後、要件の見直しをする場合は、松戸市独自で行えるようになるのか。

答 条例の改正により、入居資格を厳しくして、入居に制限をかけることや、あるいは緩和を図って入居しやすくするなど、松戸市独自で入居資格者の要件を見直すことができるようになる。また、国の定めから削除されることにより、制度が変わるのではないかと懸念の声も聞かれるが、改めて市の条例に定めることで、基本的には今までと同様の制度となるものである。

込んでおり、計画に対して約75%が実施済みとなる。引き続き、25年度以降も新たな計画を策定し、浮上防止対策を実施していきたい。

議案第73号
松戸市営住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

●主な質疑

問 今回の改正は、国の公営住宅法の改正で削除される市営住宅への単身入居資格者の要件を、市の条例で新たに規定するものと判断している。今後、要件の見直しをする場合は、松戸市独自で行えるようになるのか。

答 条例の改正により、入居資格を厳しくして、入居に制限をかけることや、あるいは緩和を図って入居しやすくするなど、松戸市独自で入居資格者の要件を見直すことができるようになる。また、国の定めから削除されることにより、制度が変わるのではないかと懸念の声も聞かれるが、改めて市の条例に定めることで、基本的には今までと同様の制度となるものである。

議案第53号
平成23年度松戸市病院事業会計補正予算(第2回)

●主な質疑

問 千駄堀地区を新病院建設候補地の判断材料とするための測量は、進めるべきだと思いが、なぜ2千1百万円もの測量費が必要なのか。

答 今回の測量に関しては、6項目に分けて調査をさせていた。まず1点目は、全体面積の測量および各筆の面積を確定させる。2点目は、基準点を設けるための測量。3点目は、森林部と高地部の面積を確定し、土地利用の平面図を作成するための現地測量。4点目は路線測量で、地盤の高低差を測量する。5点目は、公共用地確定のための資料とするため、道路部分と民地部分の路線測量。6点目は、一筆ごとの測量図、全体測量図、縦横断面など各種図面の作成、という内容である。

まずは、全体の測量により、全面積が確定するので、おおよその借地代等の計算ができる。それをもつて基本計画を策定し、事業費を精査していく方法を考えている。各筆の測量図や公共用地確定のための協議資料等は、その後に備えていきたい。

今回、測量を行う本来の目的は、この事業が早く・安くできるかを検証していただくためと、また、この事業を確定するための説明資料にしたいという思いからである。そのためには、各筆の調査を行い、地権者に賛同をいただかないことには、基本計画が宙に浮くこととなるので、早く準備を進めることが工期の短縮になると考えている。

議案第53号
平成23年度松戸市病院事業会計補正予算(第2回)

●主な質疑



日暮市営住宅

市立病院 建設検討 特別委員会

議案第53号

平成23年度松戸市病院事業会計補正予算(第2回)

●主な質疑

問 千駄堀地区を新病院建設候補地の判断材料とするための測量は、進めるべきだと思いが、なぜ2千1百万円もの測量費が必要なのか。

答 今回の測量に関しては、6項目に分けて調査をさせていた。まず1点目は、全体面積の測量および各筆の面積を確定させる。2点目は、基準点を設けるための測量。3点目は、森林部と高地部の面積を確定し、土地利用の平面図を作成するための現地測量。4点目は路線測量で、地盤の高低差を測量する。5点目は、公共用地確定のための資料とするため、道路部分と民地部分の路線測量。6点目は、一筆ごとの測量図、全体測量図、縦横断面など各種図面の作成、という内容である。

まずは、全体の測量により、全面積が確定するので、おおよその借地代等の計算ができる。それをもつて基本計画を策定し、事業費を精査していく方法を考えている。各筆の測量図や公共用地確定のための協議資料等は、その後に備えていきたい。

今回、測量を行う本来の目的は、この事業が早く・安くできるかを検証していただくためと、また、この事業を確定するための説明資料にしたいという思いからである。そのためには、各筆の調査を行い、地権者に賛同をいただかないことには、基本計画が宙に浮くこととなるので、早く準備を進めることが工期の短縮になると考えている。

議案第53号
平成23年度松戸市病院事業会計補正予算(第2回)

●主な質疑

問 平成23年度に院内感染事故が発生したが、検証等は行ったのか。

答 23年9月から12月にかけて事故があり、慎重に検討等を行った結果、集中治療室の改善等を行った。今後の対策としては、標準の予防策や感染管理チームの見回り等を行う考えである。今回、成田赤十字病院と千葉大学医学部付属病院の感染部門に来ていただき、改善点等について指導を仰いでいる。

予算審査特別委員会の審査から 平成24年度予算（10会計）を可決

予算審査特別委員会委員

委員長 三美二之行 祥一
 副委員長 井所 秀正 裕 伸 史 由 能
 委員 桜城原 高 宇 津 野 山 山
 杉 深

一紀 明 作
 ジロ 由 公 栄
 根ら 箸 口
 関こ 飯 山

予算のあらまし

会計名	予算額(千円)	伸張率(%)		
一般会計	127,830,000	1.5		
特別会計	国民健康保険	49,607,489	2.7	
	松戸競輪	17,559,984	△34.7	
	下水道事業	12,426,240	△2.3	
	公設地方卸売市場事業	239,192	△0.2	
	駐車場事業	86,002	10.7	
	介護保険	25,674,106	14.9	
	後期高齢者医療	4,080,749	11.0	
	計	109,673,762	△4.0	
	企業会計	水道事業	2,403,443	△2.9
		病院事業	19,251,339	2.0
計		21,654,782	1.5	
合計	259,158,544	△0.9		

一般会計

総務費

シティプロモーションの活用を

問 ソーシャルメディアはお金がかからないのがメリットである。若者向け情報誌やシティプロモーションも含め、公金を使って実施する理由は何か。

答 流山市はシティプロモーション業務委託に2千147万円、浜松市は約5千万円で、市の魅力在市内外に発信しており、その他の自治体でも魅力を発信していることが主流になりつつある。

松戸市には、自分たちの魅力を宣伝していくという部分が欠けており、積極的に広報していく必要があると感じている。積極的に魅力を伝え、人口の増加につながるようなシティプロモーションが必要と考え、フェイスブックや若者向け情報誌、フィルムコミッションにかかる予算を計上した。

民生費

子どもを育てる

問 地域子育て支援事業として、親力支援担当室ができた目的は。また、親の悩みを把握して、取り組む必要があると思うが見解は。

答 次世代育成支援行動計画が達成すべき事柄に、親力を向上する計画がある。教育委員会の幼児家庭教育学級と連携する形で、福祉部門に担当室が設置された。親が困っていること、悩んでいることを把握し、取り組む必要性は十分認識している。担当室の主催事業には、親力向上セミナーがあり、初産の乳幼児を育てる保護者を対象に開催する。このセミナーは、参加者が主体的に自らの悩みや状況を打ち明け、課題の解決方法を見つけ出す力を養うことを目的としている。子育てに関する課題の把握と解決に向け今後も取り組むたい。

衛生費

予防接種事業について

問 予防接種事業における不活化ポリオワクチン、日本脳炎ワクチン、子宮頸がんワクチンの状況はどうなっているか。

答 不活化ポリオワクチンは、平成24年秋頃の導入に向け、国が調整している。現在、薬事審査や供給準備が進められているところである。

日本脳炎ワクチンは、接種後に重い病気になった事例があることから、17年度から21年度にかけて予防接種の差し控えが続いていた。21年に新ワクチンが開発されて以降、現在は新ワクチンによる接種が行われている。

子宮頸がんワクチンは供給不足により、23年3月から6月まで接種を一時中止していたが、7月より接種を再開した。

商工費

商店街と工業の活性化について

問 商店街と工業の活性化計画策定業務は、それぞれの程度の活性化を期待しているのか。また、実現性をどのように考えているのか。

答 平成23年度は本市の事業者や中小企業者を対象にアンケートを実施した。これは、課題やニーズ、そして市に期待する支援策などを調査するためのものである。

24年度は、この結果を踏まえ、行政として支援する具体的な施策、また、事業者自らが行うべきことを明らかにし、整理していく。これらの計画は「絵に描いた餅」とならぬよう、構想的なものではなく、具現性、実行性のあるものを目指している。今後は、商



今日のおすすめは？

店街や中小企業者が元気になる提案をしていきたいと考えている。

防災対策費

放射能対策に要する経費について

問 松戸市はホットスポットと呼ばれることから、高額な放射能除染費用を計上しているが、除染対策には、どのような特徴があるのか。

答 本市の除染対策の特徴は、子どもの安全安心を最優先として、そのため、子ども関連施設の除染を優先して行っていることである。

問 放射線に関わる対策費用のうち、約11億8千万円が国費の補助対象外となっている理由は。

答 本市は、国が費用負担し、市が除染等を実施するという汚染状況重点調査地域に指定されている。文部科学省の航空機モニタリング測定結果では、地域の6割程度が国の除染基準の毎時0.23マイクロシーベルト以上に当たるとされた。従って費用の約6割が国費補助対象となり、4割を対象外として推計した。

特別会計

国保会計

特定健康診査の受診率向上を

問 特定健康診査の受診状況と受診率向上への取り組みを伺う。

答 特定健康診査の受診率は、平成20年度が24.5%、21年度24.9%、22年度は24.6%で、受診率の向上は最も重要な課題となっている。

今後の取り組みは、23年度から実施している受診料の無料化や人間ドック助成制度が、市民にまだ周知されていないようなので、両事業の更なるPRを図る。具体的には、健診のお知らせに

企業会計

病院会計

緩和ケアの再開を

問 東松戸病院の休床している20床で、緩和ケアを再開したいとのことだが、実現の可能性を伺う。

答 現在、約17名の緩和ケア対象患者が、一般病棟で入院・診療を受けている。平成24年度にはホスピス、または、緩和ケア専門の先生を特別顧問として招き、新病院構想も含め、緩和ケア医療の構築と休床中の活用に向けて、制度設計していきたい。

県からは、平成5年に開設許可を受けており、今後の課題として、病棟のリフォームが必要となる。また、専門の医師が1名、看護師については、夜勤体制を考えると最低でも17名程の人事要員が必要になる。24年度は、病院医療の質の向上に向け、医療機能評価を受けるなど早期開設を目指し、準備作業を実施していきたい。



快適な病院ライフをめざして

一般会計予算案に対する修正案

審査中、7人の委員が次の修正案を提出し、委員間で質疑を行いました。

歳入予算のうち、除染費用の一部にあたる東京電力への請求額は、雑入として認め難く、財政調整基

金を充てるべきとする。また、歳入予算のうち、宇宙かぼちゃ「松戸白」を使用したイベント費、広報戦略推進事業、オリジナルナンバードレス作成費、松戸駅西口シンボル軸整備事業は、予算措置理由に公費としての必要性緊急性が認められず減額修正すべきである。

質問者 広報戦略推進事業の全額である情報誌発行経費、ソーシャルメディア構築経費、シティプロモーション関係経費を減額修正することだが、戦略を否定するのか、内容を否定するのか。

提案者 誤記事が掲載された市広報紙や公式ツイッターの誤報など、正確性を必要とされる広報のあり方を、この一年指摘し続けてきた。しかし、未だ組織として、再発防止策が取られていないことが明らかとなった。新たな広報戦略を打ち出す前に、まず広報の正確性を検証し、構築すべきと考え、時期尚早と判断し減額修正した。

平成24年度 予算討論

定例会最終日に、予算案に対する討論が行われました。

けて国の責任を強く求め、反対とする。

後期高齢者医療会計では、自治体が高齢者を切り離す制度そのもの問題を指摘し、反対する。

日本共産党

一般会計、国民健康保険特別会計、松戸競輪特別会計、公設地方卸売市場事業特別会計、介護保険特別会計および後期高齢者医療特別会計に反対し、下水道事業特別会計、駐車場事業特別会計、水道事業会計、病院事業会計に賛成する。

議案第54号平成24年度一般会計予算から、議案第63号平成24年度病院事業会計予算までの10議案に賛成する。

主権改革は、国の社会保障責任を後退させることから、今回の予算審査は、市民の暮らしを守る立場にあるかという視点で臨んだ。

一般会計では、LED防犯灯の整備や東部市民センターのエレベーターの設計等、前進のめられた施策は評価し、感謝する。一方、既設集会所の用地購入補助の検討子ども医療費助成制度の中学校卒業までの拡大と現物給付の実施等、残された問題や課題を指摘し、充実に要する。放射能対策費用は、国と東京電力に断固たる姿勢で求償するよう求める。

国保会計では、保険料抑制の努力と還付申請漏れの対処、減免制度の周知および基準緩和を求める。競輪会計では、自治体財政をギャンブルに頼るべきではないと訴えてきた。撤退の主張を主張する。市場会計では、全国でも類を見ない民設公営借上げ方式の問題と、1市2市場の非効率性を指摘する。介護保険会計では、高額な保険料やサービス利用料、施設不足等、困難を深める制度だが、打開にむ

一つ一つの事業は理解するが、総花的ではなく、税収減の中、今後の行政の役割を再構築する時期でもあり、都市間競争ばかりでなく、連携することも重要である。税収が上がらない今だからこそ、予算全体を把握し、選択と集中により、困難な自主自立の道を果敢にチャレンジするため予算執行に臨んでいただきたい。

市民クラブ

議案第54号平成24年度一般会計予算から、議案第63号平成24年度病院事業会計予算までの10議案に賛成する。

市民の多様な要望に応えるため、不要不急な事業や効果が十分見込めない事業がないかなど、当局の見解を確認しながら審査に臨んだ。

一般会計の修正案については、年度内に歳入確保の見通しがままならない放射線除去対策費の収入約11億8千万円を計上することは、予算編成の常道を外れている。行政運営の確実性を重んじる立場から、財政調整基金を取り崩すことにより、一般財源化すべきと考えた。

歳出の土木費では、松戸駅西口シンボル軸整備業務で、松戸駅周辺地域活性化事業として、本市独自のまちのビジョンやグラウンドデザインを策定するため、3千5百万円もの金額が計上されている。また、同じ年度に松戸駅の緑花のため、2千万円もの別予算も計上されており、この事業が基本計画に先行して実施されるのは、行政としての整合性、組織的な総合力を持った施策と理解できないため、時期尚早と考えた。

一つ一つの事業は理解するが、総花的ではなく、税収減の中、今後の行政の役割を再構築する時期でもあり、都市間競争ばかりでなく、連携することも重要である。税収が上がらない今だからこそ、予算全体を把握し、選択と集中により、困難な自主自立の道を果敢にチャレンジするため予算執行に臨んでいただきたい。

松政クラブ

議案第54号一般会計予算を修正し、修正部分を除く原案から、議案第63号病院事業会計予算までの10議案に賛成する。

予算審査に当たり、人口減・税収減への対策として、各事業が将来的なビジョンと計画の下に行われているか、その効果とタイムミン

グが適切であるかなど、事業の優先度を主眼に検証し、疑問が残る点は、修正案を提出した。

一般会計では、総務費の広報戦

略関係経費について、まず、広報のあり方を考えなければならぬ。平成23年10月15日号の広報まつどには、議会における市立病院問題の議論と全く異なった記事が掲載され、24年2月1日号に謝罪訂正文が掲載されるといふ異例の事態が起こった。今日まで、再発防止策の策定や組織の見直しをただしてきたが、全く行われていない。正しい情報を伝える広報と組織のあり方を、今一度見つめ直し、再構築すべきと指摘する。歳入につい

ては、除染にかかる費用の一部を東京電力からの賠償金を見越して計上している。特別措置法の規定では、除染の費用を東京電力が国が負担するとしているが、現実には、被害が甚大な被災地が優先され、賠償金が24年度中に支払われる可能性は低い。本来あるべき歳入は、堅くみるという予算編成の原則どおり、一時的に一般財源で対応することが適切と考え、修正する。市長には、議会とのコミュニケーションを深める努力と、責任を持った行政運営を行うよう求め、10会計予算案に賛成する。

市民力

議案第54号から議案第63号までの10件の原案に賛成し、議案第54号の修正案は反対する。

平成24年度予算案は、「安全安心なまちづくり」「子育て、教育、文化を軸とした都市ブランドづくり」の2つの柱に沿った、明確な予算と認識し、その点を評価する。

一般会計予算の総額は、前年に比べ1.5%増加しているが、歳入を占める市税は、3.4%の減少が見込まれる。要因は、固定資産税および都市計画税で、商業地の価格の低さと人口減によるもの

と考える。固定資産税の増収には、本市商業の再生が不可欠であるため、商工費の12.8%の減額は指摘する。

修正案で除かれた4つの事業費等については、本市のブランドイメージを上げる施策として重要と考え、修正案には反対する。

まず、広報戦略推進事業の3経費と市税賦課事業のオリジナルナンバープレート作成業務は、ブランド力アップのため重要である。次に、宇宙かぼちゃ「松戸白」関係経費は、その商業的構想から、市内外にPRするため必要である。

そして、松戸市駅西口シンボル軸整備業務は、松戸市都市計画マスタープランに基づくものであり、すでに位置付けがされている。また、放射能対策費は、国と東京電力が負うべきであり、基本的な姿勢を堅持するため修正すべきでない。

今後も苦しい状況が続くが、経費の見直しと、本市の活気、元気を取り戻す施策をお願いしたい。

最後に修正案については、政策検討事業の4事業3千354万円は、時期尚早、不要不急と判断し、予算を修正するものである。歳入では、東京電力への除染費用の請求分を計上しているが、未確定であることから修正する。

公明党

一般会計予算の修正案、ならびに残りの原案、各特別会計予算、水道事業会計予算および病院事業会計予算について賛成する。

平成24年度一般会計予算は、過去最高の127億8千万円で、1.5%増となり、それに対し、歳入の根幹をなす市税は、全体で64.3億8千万円、3.4%減と見込まれる。そのため、臨時財政対策債発行額は、66億円、20%増となってしまう。市の借金である市債残高は、平成9年から22年まで一貫して減少し、ピーク時の8年と比較して、59.4億円も削減されてきた。しかし、本郷谷市長になり、市債残高は一転して増加に転じ、この2年間で46億円も増えてしまっている。今後とも財政規律を維持しながらの執行をお願いしたい。

一般会計総務費の「平和事業」では、平和大使の充実を評価する。民生費の「災害救助事業」は、47企業と災害時相互応援協定や市内大学との協定の締結を評価する。衛生費の「不妊治療助成事業」は、松戸市独自の助成に感謝する。さらに不育症の公費助成にも前向きな検討を要望する。

災害復旧費の放射能除染対策費では、市民の不安を払拭すべく、全力での除染作業を要望する。

最後に修正案については、政策検討事業の4事業3千354万円は、時期尚早、不要不急と判断し、予算を修正するものである。歳入では、東京電力への除染費用の請求分を計上しているが、未確定であることから修正する。

民主・社民

議案第54号平成24年度一般会計予算の修正案に反対し、原案と議案第55号から第63号に賛成する。

人口減少傾向や消費者の流出など、厳しい問題を抱える中で、今回の予算が、即効性を持ち効果的であるかという観点で審査した。

一般会計では、放射能対策費の歳入について、国の補助対象外となる約11億8千万円を東京電力からの支払分とした原案に賛成する。歳出の総務費では、宇宙かぼちゃ「松戸白」の関連経費については、松戸の活性化を図る事業である。広報戦略の3事業は、市のPR映像の作成、映画やテレビ番組の口ケ地として松戸を利用してもらうように、フィルムコミッションの設立などが盛り込まれており、市のイメージを短期的かつ安価に変える手法として有効なものである。オリジナルナンバープレート作成は、市のオリジナルティを早く打ち出すことが効果的であり作成を強く求める。

また、土木費の松戸駅西口シンボル軸整備業務は、駅周辺の活性化を図るためにも必要と考える。以上、申し上げた内容を削除する修正案に反対し、原案に賛成する。

国保会計は、特定基本健康調査の受診率向上に向け、さらなる取り組みを要望する。

競輪会計では、電気料金のコスト削減等、経営努力を評価する。介護保険会計では、第5期介護保険料の引き上げに、市民への丁寧な説明を要望する。保険料所得段階設定を細分化し、きめ細かい対応を図ったことを評価する。

最後に修正案については、政策検討事業の4事業3千354万円は、時期尚早、不要不急と判断し、予算を修正するものである。歳入では、東京電力への除染費用の請求分を計上しているが、未確定であることから修正する。

絆(キズナ)

議案第54号一般会計予算の修正案に賛成、その修正案を除く原案に賛成する。議案第55号から61号の特別会計予算、第62号および63号の企業会計予算について賛成する。

平成24年度予算は過去最大で、財政調整基金を取り崩しての予算となる。

総務費では、3つの事業に対し修正案を出したが、すべてを否定するものではない。市民の方の声を反映させ、また、正しい情報を提供するなど、まずは公共性を原

点に考えていただきたい。民生費は、生活保護受給者への就労支援やひとり親家庭への医療費補助等、厚い支援をお願いする。労働費では、若年者の就労支援として職業能力向上研修等の積極的取り組みを評価する一方、支援事業の積極的な宣伝をお願いする。商工費では、起業支援に力を入れ、サブカルチャーによるまちづくり等の積極的な施策を行い、税収の増額につなげていただきたい。土木費の戸定が丘歴史公園の整備では、ぜひ地元の方と一緒に進め、検討していくことを要望する。

教育費では、特別支援学級の設置校を2校増やすなど、力の入った取り組みを評価するものである。災害対策費では、市民の方が安心して暮らせるよう、放射能対策をしつかりとお願いする。

黒字化した病院事業を評価するものの、人件費が高いことが気かりである。プロパー化等を検討し、更なる経営改革を進めてほしい。全体的に調査委託業務が多いが、大切なことは、有効な結果を残すことであると指摘し、賛成する。

最後に修正案については、政策検討事業の4事業3千354万円は、時期尚早、不要不急と判断し、予算を修正するものである。歳入では、東京電力への除染費用の請求分を計上しているが、未確定であることから修正する。

3月定例会 審議結果

Table with columns for item number, name, and result. It is divided into sections: Mayor's proposals (市長提出議案), Council members' proposals (議員提出議案), Requests (請願), and Statements (陳情).

Information regarding the resignation of the Human Rights Protection Committee members (人権擁護委員). It lists the names of the members: 星野進 (Hoshino Shin), 藪田京子 (Yabuta Kyoko), and 森めぐみ (Mori Megumi).

Information regarding the submission of 5 opinion letters (意見書5件提出). It lists the topics: 'Request for the cancellation of the 2024 budget reduction' (2024年度予算削減の撤回を求める意見書) and 'Request for the early realization of the new municipal hospital construction in the Shikibu area' (千駄堀地区への新市立病院建設の早期実現を求める意見書).



受彰者のみなさんと田居照康議長

松戸市議会表彰

3月5日に、松戸市議会表彰が本会議場で執り行われました。この表彰は、スポーツ・学術・文化・社会活動等で、特に功績のあった個人・団体に対し、松戸市議会が表彰を行い、功労を讃えるとともに、市民の郷土愛を育むことを目的としています。



市立第四中学校吹奏楽部の皆さんに、コンクール課題曲「天国の島」自由曲「罅響（こだま）する時の峡谷」などを演奏していただきました。

個人表彰

真如 優菜（前列左）
（市立矢切小学校）

第34回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会女子200mメドレーリレー
第1位

島原 寿伸（前列中央左）
（市立小金小学校）

第46回交通安全安全子供自転車全国大会 個人優勝

杉本 海斗（前列中央右）
（市立高木第二小学校）

第6回全国ブロック選抜U-12 体操競技選手権（種目別）跳馬
第1位

団体表彰

市立和名ヶ谷中学校 吹奏楽部
（前列右 代表 宮方 さつき）

第24回全日本マーチングコンテスト 中学の部 金賞
市立第四中学校 吹奏楽部
（後列左から 代表 小林 加奈
代表 恩田 亜弓）

第59回全日本吹奏楽コンクール 中学の部 金賞

特別表彰

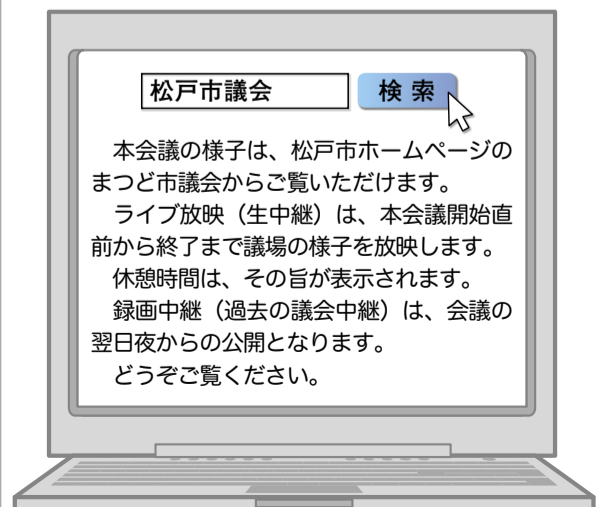
市立第四中学校 駅伝部
（後列左3番目から）

代表 木口 航太
代表 伊勢 翔吾
第65回東葛飾地方中学校駅伝競走大会 優勝
（敬称略）

東日本大震災から一年以上の時が経過いたしました。震災と津波原子力発電施設の事故は、我々日本人が、大自然と共に生きていることを改めて自覚させられました。被災された自治体は当然ですが、本市においても防災体制のあり方をいや応なしに再考させられ、消防や放射能問題対策・学校耐震化

本会議のインターネット放映

インターネット放映アクセス件数
（平成17年6月開設から23年4月末まで）
27万3,559件



6月定例会の開催予定

期日	主な内容
6月13日(水)	招集日・本会議（議案説明）
14日(木)	本会議（一般質問）
15日(金)	〃
18日(月)	〃
19日(火)	〃
20日(水)	〃（一般質問・議案質疑）
22日(金)	総務財務常任委員会
25日(月)	健康福祉常任委員会
26日(火)	教育経済常任委員会
27日(水)	都市整備常任委員会
6月29日(金)	本会議（議案等の採決）

平成24年松戸市議会6月定例会は、6月13日(水)から29日(金)まで開催される予定です。請願・陳情は6月4日(月)正午までに提出してください。

議会を傍聴しませんか。
問い合わせ先 市議会事務局 TEL047(366)7382

声の議会だよりをご利用ください

松戸朗読奉仕会のご協力により、視覚障害の方を対象に、議会だよりを朗読した録音物の貸し出しをしています。詳しくは左記までご連絡ください。
松戸市障害者福祉センター（ふれあい22内）
TEL 047(383)7111
住所 松戸市五香西3-7-1

編集の窓

など、平成24年度予算にも多分に反映されました。5月22日には東京スカイツリーがオープンいたします。夜間のライトアップはもちろんですが、オープンの前日には、日本の太平洋側の広い地域で、金環日食が確認できるそうです。大自然の前に無力な存在でありながら、それを克服するために、自然にあらがひ発展を遂げてきた人類の歴史に思いをはせながら、「大自然の神秘」と「人類の英知を結集した建造物」との共生を、その目で確認されてはいかがでしょうか。

次回の発行予定は
7月29日(日)です